国際シンポジウム

ハルハ河・ノモンハン戦争80周年
新研究と新成果

2019年11月30日(土) 9:30~18:10 (9:10開場)

入場無料

■ 会 場：昭和女子大学８号館６階　オーロラホール

司会：李守(Lee Su)：昭和女子大学国際学部国際学科長・教授
柳澤明(Akira Yanagisawa)：早稲田大学文学学術院教授

Program プログラム

9:30 ~ 9:40	映像資料『ハルハ河・ノモンハン戦争における日本軍の遺骨』	
9:40 ~ 9:50	開会挨拶：坂東眞理子(Mariko Bando, 昭和女子大学理事長・総長)	
9:50 ~ 10:00	趣旨説明：ボルジギン・フスレ(Husel Borjigin, 昭和女子大学国際学部国際学科教授)	
10:00 ~ 12:00	報 告：	■Ts. バトバヤル(Ts. Batbayar, モンゴル国外務省顧問, 元駐キューバモンゴル大使) 「ハルハ河戦争に関する研究：最新の研究と成果」 ■V.V. グライヴォロンスキー(V.V. Grayvoronskiy, ロシア科学アカデミー東洋学研究所首席研究員) 「ハルハ河(ノモンハン)の武力衝突 80 周年―ロシアとモンゴルに残るその記憶」 ■二木博史(Hiroshi Futaki, 東京外国語大学名誉教授, 日本モンゴル学会会長) 「1930 年代に日本の軍部が作成したハルハ河近辺の外邦図について」
12:00 ~ 13:00	休 憩	
13:00 ~ 15:00	報 告：	■佐々木智也(Tomoya Sasaki, 軍事史研究者) 「“失敗学”としてのノモンハン―日本での受容の一例」 ■ボルジギン・フスレ(Husel Borjigin, 昭和女子大学国際学部国際学科教授) 「ハルハ河・ノモンハン戦争の捕虜に関する新資料―モンゴルで発見された満洲国軍捕虜の資料を中心に」 ■L. ミャグマルスレン(L. Myagmarsuren, モンゴル国ハルハ河戦勝博物館館長) 「モンゴル国ドルノド県ハルハゴル郡“ヤラルト(戦勝)博物館”の研究事業について」
15:00 ~ 15:20	休 憩	
15:20 ~ 16:00	報 告：	■下斗米伸夫(Nobuo Shimotomai, 法政大学名誉教授 , 神奈川大学特別招聘教授) 「スターリンの東方シフトから見た張鼓峰事件とノモンハン事件」 ■田中克彦(Katsuhiko Tanaka, 一橋大学名誉教授) 「ノモンハン戦で関東軍とともに戦ったバルガ興安騎兵隊の政治的たちばとその運命」
16:00 ~ 16:20	休 憩	
16:20 ~ 18:00	総合討論	
18:00 ~ 18:10	閉会挨拶：谷野作太郎(Sakutaro Tanino, 昭和女子大学客員教授, 元駐中国・インド日本大使)	
18:30 ~ 20:00	懇親会	

主催：昭和女子大学国際学部国際学科　公益財団法人渥美国際交流財団関口グローバル研究会(SGRA)
後援：公益財団法人鹿島学術振興財団　公益財団法人三島海雲財団
協賛：麒麟山酒造株式会社